

《平成30年度 都市計画部 組織目標の達成状況》

重 平成30年度予算重点施策に関連する項目には、「4.課題解決に向けた平成30年度の具体的な取組」欄に、左の記号を記載しています。

◆目標管理者

部長	山本 憲一
理事	六郷 昌記
理事	東 隆司

1. 現状認識
(重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)

1

- ・将来の人口減少を見据え、市街地の拡大を基調とした拡散型の開発整備から、中心市街地を中心とした集約型都市構造への転換が求められています。
- ・市街地調整区域の一部の集落における人口減少や高齢化、農業や漁業の後継者不足などの課題を解決し、地域コミュニティを維持していくための対策が必要となっています。

2

景観づくりの効果は、活動を長期的に継続して初めて効果が現れてくるものであることを認識するとともに、市内各地の特性に応じた良好な景観の保全と活用に取り組む必要があります。

2. 重点目標

①

- ・「コンパクトシティ・プラス・ネットワークのまちづくり」の実現を目指し、立地適正化計画、草津市版地域再生計画、地域公共交通網形成計画の計画策定に引き続き取り組みます。
- ・「コンパクトシティ・プラス・ネットワークのまちづくり」の考え方に基づき、市民(地域)・事業者・大学・行政の四者の協働、連携のもとで、地域の特性に応じた、また将来を見据えた公共交通ネットワークの再編を推進します。
- ・各計画の策定後においても、引き続き各学区に入り、地域の特性に応じた具体的な施策の検討を行っていきます。

②

地域の特性に応じた景観づくりを進めるため、地域の景観特性や課題に取り組む住民主体の活動を支援します。

3. 目標達成のための取組と成果目標

①

【取組】
○立地適正化計画を策定し、公表します。
○草津市版地域再生計画の策定および公表を行い、引き続き、各地域での具体的な取組の検討を進めます。

【成果目標】
良好な居住環境が形成されていると感ずる市民の割合
70.0% (平成29年度 67.4%)

②

【取組】
○地域公共交通網形成計画の策定および公表を行い、引き続き、各地域での具体的な取組の検討を進めます。

【成果目標】
公共交通機関の利便性に満足している市民の割合
45.0% (平成29年度 41.6%)

③

【取組】
○景観形成重点地区となる本陣通りの景観に配慮した佇まいから、中心市街地のにぎわい創出に取り組みます。

【成果目標】
景観に配慮した空き店舗活用の補助実績 1件(平成29年度 0件)

4. 課題解決に向けた平成30年度の具体的な取組
【年度末実績】

①

【取組実績】
地域公共交通網形成計画と連携し、市民説明会や地元調整を通じて市民の意見を聴くとともに、都市計画審議会等で協議を重ね、平成30年10月に立地適正化計画および草津市版地域再生計画を策定し、公表しました。
また、草津市版地域再生計画による取組の検討については、対象となる地域の方とともに、地域ごとの課題の抽出や課題解決に向けた検討を行いました。

【成果目標実績】
良好な居住環境が形成されていると感ずる市民の割合
69.3% (平成29年度 67.4%)

②

【取組実績】
立地適正化計画および草津市版地域再生計画と連携し、市民説明会や地元調整を通じて市民の意見を聴くとともに、地域公共交通活性化再生協議会で協議を重ね、平成30年10月に地域公共交通網形成計画を策定し、公表しました。
また、策定後も引き続き、地域と連携した新たな移動手段の導入検討を行いました。

【成果目標実績】
公共交通機関の利便性に満足している市民の割合
44.8% (平成29年度 41.6%)

③

【取組実績】
本陣周辺の歴史的な佇まいを活かした街並みづくりのため、7月に景観形成重点地区の指定を行い、その景観配慮基準に則した外観へ誘導するためのファサード補助について、4件の実績がありました。

【成果目標実績】
景観に配慮した空き店舗活用の補助実績 0件
*補助活用の協議を行いました。相談者の都合により延期となりました。

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	
3	全国的に公共施設等の郊外移転等都市機能の拡散、モータリゼーションの進展、流通構造の変化等による大規模集客施設の郊外立地、居住人口の減少等中心市街地のコミュニティとしての魅力低下、中心市街地の商業地区が顧客・住民ニーズに十分対応できていないことなどにより、中心市街地の衰退が進みつつあったことから、中心市街地活性化基本計画を策定し、中心市街地の活性化に向けた事業の展開を図っています。

4	沿道利便施設の立地や人口増加局面による都市機能の分散化、モータリゼーションの進展等により、交通渋滞の慢性化や公共交通機関の脆弱化等の問題を招いており、円滑な移動を確保する必要があります。
---	---

2. 重点目標	
③	本市の社会、経済、文化の拠点である中心市街地について、商業の活性化、草津川跡地公園の活用や新たな交流拠点の創造による都市魅力の向上、歴史的まちなみ・資源の保存・活用、コミュニティの再構築、駅前市街地の高度利用と都市機能の更新等により、子どもや高齢者を含めた多くの人にとって暮らしやすい、歩いて暮らせる、にぎわいあふれるまちづくりを進めます。 また、中心市街地の活性化を継続して推進していくため、平成31年4月を始期とする第2期の中心市街地活性化基本計画を策定します。
④	平成26年に策定した「草津市総合交通戦略」における進捗管理を行うとともに、自家用車に過度に頼らない意識を育み、健幸で明るい未来を構築するためには、公共交通網の形成による活性化だけでなく、子どもや高齢者などの安全確保や自転車の安全で安心な利用の促進を図ります。

⑤	【取組】 ○北中西・栄町地区市街地再開発事業を推進します。 (事業費) ・組合への調査設計計画費、共同施設整備費補助金 1,224,638千円 ・組合への共同施設整備費補助金 869,016千円(H29明許繰越予算) ○(仮称)市民総合交流センターの整備事業を推進します。(事業費 280千円) 【成果目標】 まちなかに魅力があると感じる市民の割合 35.0%(平成29年度:34.7%) 【参考】総合計画H30指標:32.0%
⑥	【取組】 ○交通安全教育に関する機会の提供や、関係機関と連携した啓発等を行うことにより、地域ぐるみの交通安全対策を推進するとともに、交通安全の周知徹底を推進し、交通事故負傷者数の減少を図ります。 【成果目標】 年間の交通事故負傷者数 520人以下(平成29年度 594人)

3. 目標達成のための取組と成果目標	
④	【取組】 ○中心市街地活性化事業を推進します。 ニワタスや草津川跡地公園de愛ひろば等の中心市街地活性化拠点を活用したイベント等の取り組みや空き店舗等を活用した魅力的な店舗整備を進めます。また、草津まちづくり株式会社の運営支援を継続して実施し、にぎわいと魅力あるまちなかを創造するための事業を推進します。 (事業費) ・中心市街地公共空間賑わい創出委託 6,058千円 ・魅力店舗誘致事業費補助金 4,000千円 ・草津まちづくり株式会社への運営支援補助金 7,500千円 ○第2期草津市中心市街地活性化基本計画を策定します。 平成31年4月を始期とする、第2期計画の策定を進めます。 (事業費) ・計画策定委託費 2,502千円 【成果目標】 中心市街地に魅力があると感じる市民の割合 35.0%(平成29年度:34.8%) 【参考】総合計画H30指標:34.0%
⑤	【取組】 ○(仮称)市民総合交流センターの整備事業を推進します。(事業費 280千円) 【成果目標】 まちなかに魅力があると感じる市民の割合 35.0%(平成29年度:34.7%) 【参考】総合計画H30指標:32.0%

④	【取組実績】 ○中心市街地の活性化に向けた取組の推進 ・ニワタスや草津川跡地公園de愛ひろば、本陣周辺エリアにおいて、幅広い世代に参加いただけるイベントや、地域の方との協働による小市などを開催し、中心市街地のにぎわい創出を図りました。 ・中心市街地活性化協議会を中心に、商業施設や商店街と連携し、草津駅周辺一帯でイルミネーションを行うことで、中心市街地の広範囲において、賑わいと回遊性の向上に向けた取組を推進しました。 ・草津まちづくり株式会社と連携し、中心市街地の空き店舗等の活用に取り組み、魅力店舗誘致事業費補助金を活用して、1件の新たな出店がありました。 ○草津市中心市街地活性化基本計画(第2期)の策定 引き続き、中心市街地活性化に取り組むため、平成31年度から5年間を計画期間とする次期基本計画の策定に取り組み、平成31年3月18日に内閣総理大臣の認定を受けました。 【成果目標実績】 中心市街地に魅力があると感じる市民の割合 33.8%(平成29年度 34.8%)
⑤	【取組実績】 ○北中西・栄町地区市街地再開発事業 令和元年度末の竣工に向けて、建設工事を実施される再開発組合に対して支援を行いました。 ○(仮称)市民総合交流センター整備事業 平成29年度に優先交渉権者として決定した民間事業者と平成30年9月に事業契約を締結しました。また、関係者と協議・調整を行い、民間事業者による設計業務を3月末までに完了しました。 【成果目標実績】 まちなかに魅力があると感じる市民の割合 34.3%(平成29年度 34.7%)
⑥	【取組実績】 総合交通戦略での進捗状況を踏まえながら、地域公共交通網形成計画を策定し、バス事業者や県、近隣市などの関係機関と連携した円滑な交通の確保に取り組みました。 【成果目標実績】 公共交通機関の利便性に満足している市民の割合 44.8%(平成29年度 41.6%) 【取組実績】 交通安全教室や自転車安全安心利用教室の開催、また、草津栗東地区交通対策協議会等の関係機関との交通安全合同啓発活動等を行い、交通事故負傷者数の減少に取り組みました。 【成果目標実績】 年間の交通事故負傷者数 397人(平成29年度 594人)

4. 課題解決に向けた平成30年度の具体的な取組 【年度末実績】	
④	【取組実績】 ○中心市街地の活性化に向けた取組の推進 ・ニワタスや草津川跡地公園de愛ひろば、本陣周辺エリアにおいて、幅広い世代に参加いただけるイベントや、地域の方との協働による小市などを開催し、中心市街地のにぎわい創出を図りました。 ・中心市街地活性化協議会を中心に、商業施設や商店街と連携し、草津駅周辺一帯でイルミネーションを行うことで、中心市街地の広範囲において、賑わいと回遊性の向上に向けた取組を推進しました。 ・草津まちづくり株式会社と連携し、中心市街地の空き店舗等の活用に取り組み、魅力店舗誘致事業費補助金を活用して、1件の新たな出店がありました。 ○草津市中心市街地活性化基本計画(第2期)の策定 引き続き、中心市街地活性化に取り組むため、平成31年度から5年間を計画期間とする次期基本計画の策定に取り組み、平成31年3月18日に内閣総理大臣の認定を受けました。 【成果目標実績】 中心市街地に魅力があると感じる市民の割合 33.8%(平成29年度 34.8%)
⑤	【取組実績】 ○北中西・栄町地区市街地再開発事業 令和元年度末の竣工に向けて、建設工事を実施される再開発組合に対して支援を行いました。 ○(仮称)市民総合交流センター整備事業 平成29年度に優先交渉権者として決定した民間事業者と平成30年9月に事業契約を締結しました。また、関係者と協議・調整を行い、民間事業者による設計業務を3月末までに完了しました。 【成果目標実績】 まちなかに魅力があると感じる市民の割合 34.3%(平成29年度 34.7%)
⑥	【取組実績】 総合交通戦略での進捗状況を踏まえながら、地域公共交通網形成計画を策定し、バス事業者や県、近隣市などの関係機関と連携した円滑な交通の確保に取り組みました。 【成果目標実績】 公共交通機関の利便性に満足している市民の割合 44.8%(平成29年度 41.6%) 【取組実績】 交通安全教室や自転車安全安心利用教室の開催、また、草津栗東地区交通対策協議会等の関係機関との交通安全合同啓発活動等を行い、交通事故負傷者数の減少に取り組みました。 【成果目標実績】 年間の交通事故負傷者数 397人(平成29年度 594人)

重